



熊本人権擁護委員協議会の井口誠一会長から感謝状を受け取る児童

故吉本則吉氏に特別叙勲伝達

平成29年9月に亡くなられた、元御船町議会議員の吉本則吉さん（享年87歳）が、国から特別叙勲を受章され、12月15日役場応接室で、ご遺族へ町長から叙勲証書と勲章が伝達されました。特別叙勲とは、単光章基準に該当し、町議会議員を3期12年以上務められ、88歳の誕生日を迎える前に亡くなられた方に対し、国から授与されるものです。吉本さんは、4期16年の永きに亘り在職し、御船町の発展に大きく寄与されました。長男の健一さんは「真実一路な性格。地域、町を一番に考える人でした。受章して喜んでいてと思います」と亡き父に想いを馳せました。



思いがこもったストーブで心も体も温まります

（公社）熊本法人会が横断旗を贈呈

12月12日、公益社団法人熊本法人会御船支部（丸山稔支部長）から横断旗が贈呈されました。毎日、子どもたちの交通安全のために使用している横断旗の老朽化が進んでいるという地域の人たちの声が届け、実行されました。贈呈された旗は50本。丸山支部長は「通学路や危険な横断歩道などで、子どもたちや高齢者の人たちの安全に役立ってもらえたらうれしいです」と笑顔で話しました。横断旗は、各地域のボランティアに配られる予定です。

御船小で「人権の花」運動終了式

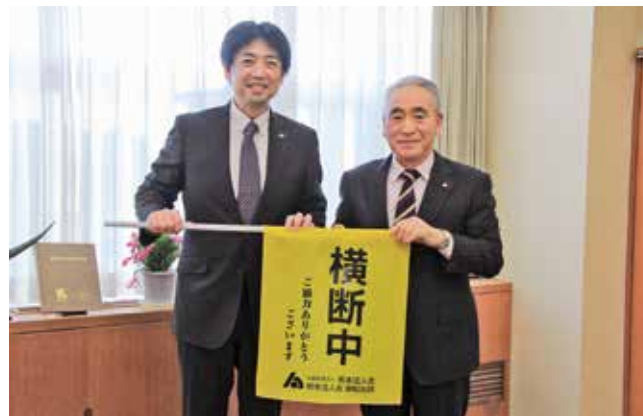
12月12日、御船小学校（大脇為久校長・339人）で「人権の花」運動の終了式と次年度実施校への花の種の受け渡しが行われました。3・4年生が花の種を植えて、育てていくことで命の大切さや人権擁護委員の研修を通して人権の大切さを学びました。児童たちからは、「自分たちで育てた花を大切にしてきました。人権で学んだことで友達を大切にしたい」と発表がありました。花の種は、仮設住宅にも届ける予定です。



長男の吉本健一さん（右）と藤木正幸町長（左）

ストーブ贈呈 観光協会

12月12日、町観光協会（永本文宣会長）から街なかギャラリーなどの観光施設に石油ストーブが贈呈されました。これは、町の復興のために観光協会として何かしたいと思い、御船復興ポロシャツの収益金の一部から購入されたもの。贈呈されたストーブは5台。冬のイベントに使用されます。永本会長は「冬の街なかギャラリーは寒いので、ぜひ使っていただきたい。そして、たくさんの町民の方々が集まり、温まってほしい」とあいさつしました。



藤木町長（左）と横断旗を贈呈した丸山支部長（右）

御船中で立志式

12月8日、御船中学校（吉見和洋校長・388人）の2年生が満14歳で迎える立志式（元服式）を行いました。立志式とは、これからの進路に“志を立てる”誓いをして、親への感謝の言葉を述べるものです。式では、「子から親へ、親から子へ」感謝の言葉を贈りました。講演会では、講師に熊本バスケットボール株式会社代表取締役の湯ノ上聡さんが“夢”について熱く講話。生徒たちにとって「夢とは何か」考える真剣な時間になりました。午後からは、御船中を発着点として、嘉島町役場（10km）を折り返す強歩会を実施、己を鍛えあげるために生徒たちは自らの歩みを進めました。



1,2_ゴールを目指して走る生徒たち
3_2年生と先生、保護者の集合写真！
4,5_子から親へ親から子へ手紙を読む様子
6_道に落ちているゴミを拾いながら、走る生徒たち
7_熱い講話をする湯ノ上さん



1区 (3.6* ₁₀)	2区 (5.2* ₁₀)	3区 (4.8* ₁₀)	4区 (3.3* ₁₀)	5区 (3.0* ₁₀)	6区 (4.8* ₁₀)	7区 (6.8* ₁₀)	8区 (6.5* ₁₀)
宮村 功星	松永 匡史	増田 陽介	江原 奈穂	江原 史織	山下 翼	増田 晃大	山下 駿
11分28秒	17分36秒	17分09秒	12分44秒	12分18秒	16分12秒	21分58秒	20分32秒
区間2位	区間4位	区間3位	区間3位	区間6位	区間2位	区間1位	区間1位

42回目の上益城郡町対抗駅伝大会

12月10日、第42回上益城郡町対抗駅伝大会が開催され、5町から7チームが出場しました。御船町役場前スタート・嘉島町町民会館ゴールの38.0*₁₀のコースに8人が挑みました。御船町は序盤から上位でレースを進め、3位入賞。山都町が優勝しました。山下直樹監督は「来年も今回の順位がキープできるようにしたい」と話しました。



大切な歯のために、これからもまだまだ頑張ります！

大切な歯のために～母子保健推進員表彰

12月12日、町母子保健推進員（川上愛子代表）の活動が「健やか親子21-8020の里賞」で審査され、見事佳作賞を受賞しました。これは健康な歯が80歳になっても20本の歯が残るようにと、手作りで紙芝居やエプロンシアターなどで赤ちゃんの時から、歯のブラッシングの重要性を伝えていくなどの活動が評価されたものです。川上代表は「子どもたちのためにと頑張ってきたことが評価され、うれしい。これからも健康な歯を持った人が多くなるように頑張りたい」と話しました。